

# IR report

## 第76期 期末決算のご報告

2010年4月1日～2011年3月31日



# 極東開発工業株式会社

証券コード:7226



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年の3月11日に発生しました東日本大震災で被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、2010年4月1日から2011年3月31日までの当社第76期営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益の改善や新興国を中心とした輸出の拡大などにより緩やかな

回復基調にあったものの、急激な円高の進行や原油価格の高騰などにより依然として先行き不透明な状況で推移しました。

そのような中、東日本大震災という未曾有の大災害の影響により、国内経済は年度末にかけて急速に落ち込みました。

当社グループにおける東日本大震災の影響につきましては、主力の特装車事業において、取引先の被災等により、シャシや部品、資材等の調達が困難になったことなどにより、国内各工場では未だ通常の稼働ができておりません。また、仙台営業所(宮城県仙台市宮城野区)や福島営業所(福島県郡山市)をはじめとして、被災地に係る工

場、営業所、サービス拠点等においても被害が生じました。なお、本震災による建物・設備の破損に伴う損失やその他関連費用として、当連結会計年度において117百万円の特別損失を計上することとなりました。

年度末に発生した震災により上記の影響があったものの、当連結会計年度において、当社グループは昨年4月からスタートした中期経営計画「Plan2010」(2010年4月～2013年3月)の1年目として、低迷する国内特装車市場の規模でも利益を確保できる体制を整えるため、生産体制の統廃合や集約、原価低減、内製化の推進、固定費の圧縮等による採算性の改善や、海外展開の推進、「環境」「安全」「グローバル」をキーワードとした製品開発等にグループ一丸となって取り組みました。

主力の特装車事業につきましては、国内特装車市場の需要低迷により厳しい状況が続きましたが、新車購入補助金や排気ガス規制強化前の駆け込み需要の効果等により回復が見られました。環境事業および不動産賃貸等事業につきましては市場の低迷により、引き続き厳しい環境で推移しました。

当連結会計年度の業績は前連結会計年度に比べ、売上高は3,615百万円(6.7%)増加して57,686百万円となりました。損益面では、直近の3年間で主力の特装車を中心に、収益改善に取り組んだ効果により黒字転換し、営業損益は3,766百万円改善して1,195百万円の利益となりました。また、経常損益は3,846百万円

改善して1,251百万円の利益、当期純損益は、前述の震災関連特別損失117百万円が発生したものの、本業の損益が改善したことにより、3,310百万円改善して882百万円の利益となりました。

今後は、震災復興需要の発生が予想されるものの、足元では引き続きシャシや部品、資材等の調達が困難な状況が一定期間継続するものと思われ、震災による業績への影響が見込まれます。

このような状況下、当社グループでは、被災地の一日も早い復興を支援すべく、主力の特装車をはじめ、各種の製品の受注・生産対応に最大限対応してまいり所存です。しかしながら、長期的な国内ト

ラック需要は大きな成長は期待できないと思われるので、今後需要が見込まれる新興国を中心とした海外展開を重点的かつ強力に推進してまいります。

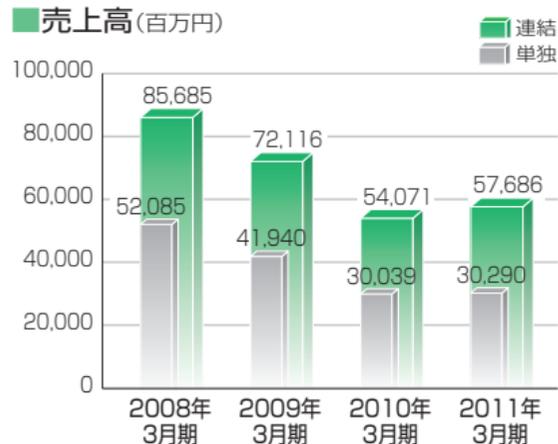
今後も、中期経営計画「Plan2010」の基本方針のもと、業績を確保すべく引き続き積極的に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

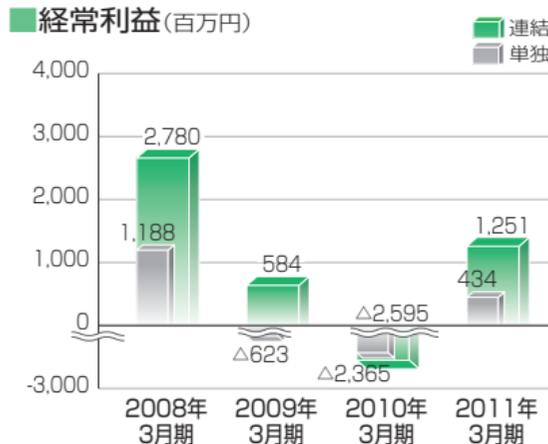
取締役社長 峯谷高明

## 連結業績ハイライト

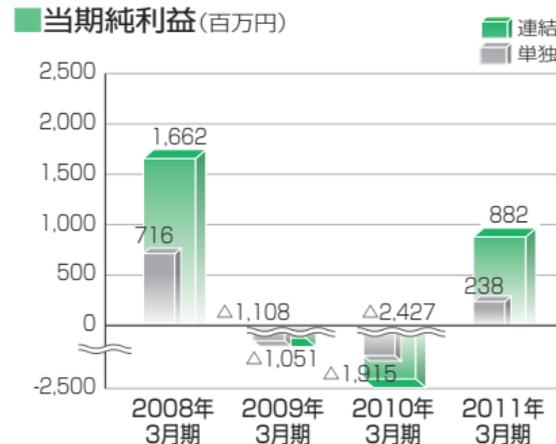
■売上高(百万円)



■経常利益(百万円)



■当期純利益(百万円)



## 海外事業の拡大

当社グループは、  
海外の強化を経営の最重要課題と  
位置づけ、今後需要が見込まれる  
新興国を中心とした海外展開を  
重点的かつ強力に推進してまいります。

### ①特装車事業

中国・インドに続くエリアとしてASEAN地域をターゲットに、生産拠点の設立や技術提携を積極的に推進し、将来の需要が見込まれる地域に重点的に経営資源を投入するとともに、グループの国内外の拠点の連携を強化します。

### ②環境事業

今後の市場が見込まれるアジア諸国をはじめとする地域において、破碎機、RDF(ごみ固形燃料)製造プラント、リサイクル施設等の拡販や技術供与を積極的に進めます。これにより、各国の環境対策の推進に貢献するとともに、環境ビジネスの強化を図ります。

## TOPICS

中国・昆山工場に破碎機のデモラインを設置  
中国での環境ビジネスの事業展開を強化!

今後のごみリサイクルに関するビジネスの拡大が期待される中国において、当社のごみリサイクル設備の拡販を図るべく、破碎機のデモラインを昆山工場に設置いたしました。本デモラインの設置により、当社が永年にわたり培った技術とノウハウをベースにした破碎機の品質、安全性及び性能を、中国国内で実際にご覧いただくことができるようになりました。

このデモラインを活用することで、中国におけるごみリサイクル設備の分野での認知度向上ならびに破碎機の拡販に繋げていきたいと考えております。



デモライン

## インド工場



### ダンプトラックやミキサートラック を2011年度より生産予定

中国・昆山工場に次ぐ第2の海外生産拠点として、インドに新合弁会社を設立しました。2011年度中に操業を開始します。



ダンプトラック

#### 【インド工場概要】

|                     |                                   |  |
|---------------------|-----------------------------------|--|
| 商号                  | ミトハラ                              | MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE COMPANY PRIVATE LIMITED |
| 事業内容                | 特装車の製造、販売ならびにアフターサービス             |  |
| 資本金                 | 186百万インドルピー(372百万円)※1インドルピー=2円で換算 |  |
| 取扱い製品               | ダンプトラック、ミキサートラック                  |  |
| 業績計画<br>(2013年12月期) | 売上高                               | 920百万インドルピー(1,840百万円)  |
|                     | 生産台数                              | ダンプトラック1,200台、ミキサートラック480台                                     |
|                     | 人員                                | 160名   |



## 中国・昆山工場



### 操業6年目を迎え、生産工場として ますます重要な拠点に

2005年より操業を行っている中国・昆山工場では、現在ミキサートラック・コンクリートポンプ車・定置式コンクリートポンプ等を生産しています。また、日本国内向け製品の部品工場として



昆山工場

でも活用されています。さらに、破碎機のデモラインの設置を行うなど、環境事業の拠点にもなっています。

#### 【昆山工場概要】

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 商号    | 極東開発(昆山)機械有限公司                        |
| 事業内容  | 特装車の製造、販売                             |
| 資本金   | 1,600万USドル(1,772百万円)                  |
| 取扱い製品 | ミキサートラック、コンクリートポンプ車、<br>定置式コンクリートポンプ等 |
| 所在地   | 中国江蘇省昆山開発区日本工業園区杜鵑路288号               |

## 東日本大震災に対する当社の取り組み

この度の東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループでは震災の発生以降、支援物資の提供や、日本赤十字社を通じた義援金の寄贈などを行いましたが、今後の被

災地復興に向け、主力の特装車や環境整備機器等の製品およびサービスを通じて、引き続き力強く支援してまいります。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

### 復興活動を支える当社製品

#### ダンプトラック

当社独自の「ごうりき」式ホイスト機構を搭載。過酷な作業に耐える強力なパワー、機動力、走行安定性を備え、復興活動の様々な場面で活躍します。



大型リヤダンプトラック(20t車級)

#### 脱着ボデー車 (フックロール®)

災害廃棄物を効率よく収集、運搬することが可能。小型～大型までの多様な車種で、迅速な復旧活動に威力を発揮します。



フックロール®(22t車級)

## 給水車

衛生的なステンレスタンクや高性能水ポンプなどを装備し、飲料水の供給がストップした際など、緊急時の飲料水輸送に貢献します。



給水車

## タンクローリ

復興活動に欠かせないガソリンや灯油等の石油燃料を、大容量かつ高効率に運搬することが可能。ライフラインを支えます。



24kL角形アルミタンクセミトレーラ

## 災害廃棄物仮設処理プラント

木材、コンクリート、土砂、金属類など種々雑多なものが含まれる災害廃棄物を選別・破碎した後、焼却処理するものと埋立処理するものへの選別を行う仮設プラントです。早期に災害廃棄物の処理を完了させるうえで必要となる施設です。



災害廃棄物仮設処理プラント

## 新製品ニュース

大幅軽量化により、業界トップクラスの積載量を確保！

軽量型「エアスライド式ジェットパック<sup>®</sup>」

「アルミタンク搭載エアレーションブロー式ジェットパック<sup>®</sup>」

軽量型の粉粒体運搬車「エアスライド式ジェットパック」ならびに「アルミタンク搭載エアレーションブロー式ジェットパック」を新発売しました。

粉粒体運搬車の主要な積載物であるセメントをより効率よく運搬するため、積載量アップの要望が高まっています。今回新開発した製品は、タンク構造の大幅な改良や、サイドバンパを鉄製からアルミ製に変更する等の仕様の見直しにより、架装物の軽量化を実現、業界トップクラスの積載量を確保しました。



アルミタンク搭載  
エアレーションブロー式  
ジェットパック<sup>®</sup>。(25t車級)



エアスライド式ジェットパック<sup>®</sup>。  
(22t車級)

※エアスライド式とは、タンク底部のキャンバスの布目から吹き出すエアにより粉粒体を流動化させて、タンク中央部の排出口に集める方式です。タンク構造は一室傾胴型で、セメント等の流動性の良い粉粒体の排出に適しています。

※エアレーションブロー式は、粉粒体を長距離、高所排出できる方式です。キャンバス交換が容易にできメンテナンスが経済的です。

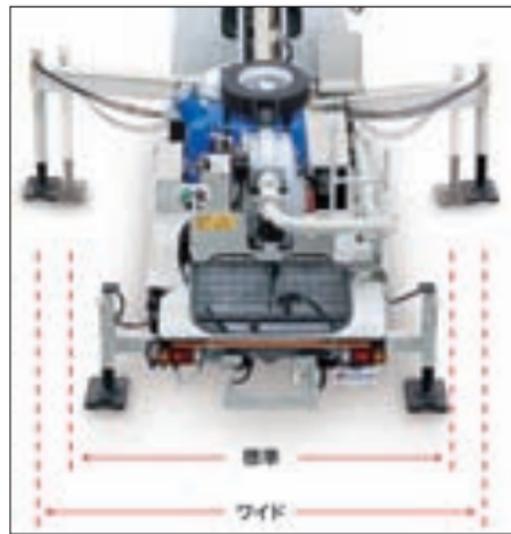


## スクイーズ式コンクリートポンプ車に15メートルクラスをラインナップ 「スクイーズクリート® PH45A-15」

これまで設定が無かった15メートルクラスのブームを搭載したスクイーズクリート（絞り出し式コンクリートポンプ車）を新たに追加しました。ブームには先端ホース位置の微調整ができる油圧式エクステンションブームを採用しており現場での作業をサポートします。生コンクリートを絞り出すためのゴムローラには新形状のものを搭載することで圧送効率を高めるとともに、消耗品であるチューブの寿命アップにも繋がります。さらに利便性と安全性にも配慮して、フロントアウトリガは張り出し位置を選択（標準又はワイド）できるようになりました。



新形状ゴムローラ

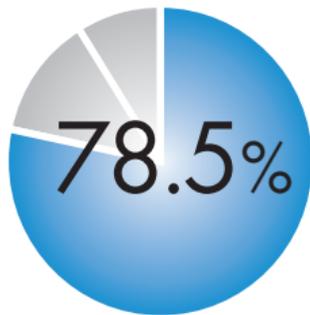


張り出し位置を選択できるフロントアウトリガ

# セグメント別概況

## ◆ 特装車事業

### 売上構成比



スケールフックローラ®



パワーゲート® G II 1000

特装車事業につきましては、国内特装車市場の長期的な低迷が続く中、新車購入補助金等の効果等により回復の傾向が見られましたが、3月後半は、東日本大震災の影響による取引先の工場稼働停止や部品・資材等の調達が困難となったことにより、生産が落ち込みました。

しかしながら、当社グループは年間を通じて受注の確保に努めるとともに、原価低減や内製化の推進等による損益の改善に積極的に取り組みました。また、生産効率の向上を目的として、2011年1月1日付でグループ会社の九州トレクス株式会社を

日本トレクス株式会社に吸収合併し、九州地区の生産拠点を当社福岡工場に統合いたしました。また、海外展開の一環として、2010年10月7日付でインド アンドラ・プラデシュ州ビジャワダに「MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE COMPANY PRIVATE LIMITED」を設立し、同月から工場の建設に着手いたしました。中国・昆山工場に次ぐ当社の二番目の海外生産拠点として、2011年度中に操業を開始する予定です。

これらの結果、特装車事業の売上高は5,382百万円(13.4%)増加して45,646百万円となりました。営業損益は前述のような諸施策の効果で損益が改善したことより、3,631百万円改善して673百万円の損失となりました。今後ともこれらの諸施策に重点的に取り組むことによって、同セグメントの収益改善を図ります。



プレスパック<sup>®</sup>ダンボール専用車

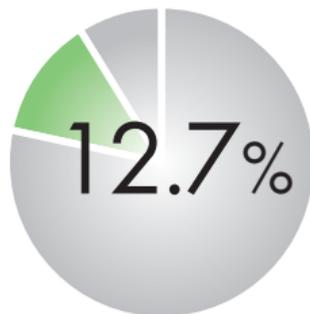
#### 国内普通トラック登録台数の推移



海上コンテナ積載用セミトレーラ

## ◆ 環境事業

売上構成比



リサイクルプラザ



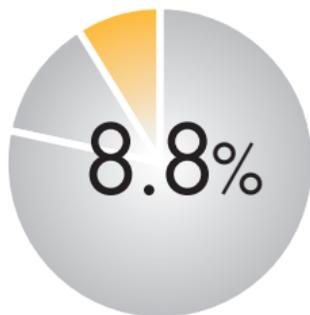
破砕機 (極東・トレマッシュ®)

環境事業につきましては、メンテナンス・運転受託に継続的に注力したほか、プラント部門では採算重視の選別受注やPFI案件の受注活動を引き続き推進し、利益の確保に努めました。

この結果、受注高はさいたま市や船橋市、野田市の廃棄物処理施設の新規受注が寄与したこと等により、2,424百万円(25.5%)増加して11,934百万円となりました。売上高は工事進行基準売上が一時的に減少した結果、943百万円(11.3%)減少して7,369百万円となりましたが、営業利益は収益改善に取り組んだ結果、17百万円(1.3%)増の1,297百万円となりました。

## ◆ 不動産賃貸等事業

売上構成比



不動産賃貸等事業につきましては、市場低迷の影響により厳しい受注環境となりましたが、立体駐車装置のメンテナンス、リニューアル事業への注力や原価低減等の推進、コインパーキングの営業体制強化に努めました。この結果、売上高は807百万円（13.6%）減少して5,145百万円となりましたが、営業利益は採算性が向上したことにより、15百万円（1.9%）増加して861百万円となりました。



コインパーキング (P.ZONE®)



レントウパズル®G2

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

| 科 目         | 当 期           | 前 期           |
|-------------|---------------|---------------|
|             | 2011年3月31日現在  | 2010年3月31日現在  |
| <b>資産の部</b> |               |               |
| 流動資産        | 44,277        | 41,425        |
| 固定資産        | 43,841        | 43,872        |
| 有形固定資産      | 34,954        | 36,080        |
| 無形固定資産      | 356           | 392           |
| 投資その他の資産    | 8,531         | 7,399         |
| <b>資産合計</b> | <b>88,118</b> | <b>85,298</b> |

(単位:百万円)

| 科 目            | 当 期           | 前 期           |
|----------------|---------------|---------------|
|                | 2011年3月31日現在  | 2010年3月31日現在  |
| <b>負債の部</b>    |               |               |
| 流動負債           | 21,053        | 19,858        |
| 固定負債           | 14,172        | 13,080        |
| <b>負債合計</b>    | <b>35,225</b> | <b>32,938</b> |
| <b>純資産の部</b>   |               |               |
| 株主資本           | 52,727        | 52,083        |
| 資本金            | 11,899        | 11,899        |
| 資本剰余金          | 11,718        | 11,718        |
| 利益剰余金          | 31,254        | 30,610        |
| 自己株式           | △ 2,145       | △ 2,145       |
| その他の包括利益累計額    | 165           | 275           |
| その他有価証券評価差額金   | 366           | 294           |
| 為替換算調整勘定       | △ 201         | △ 18          |
| <b>純資産合計</b>   | <b>52,892</b> | <b>52,359</b> |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>88,118</b> | <b>85,298</b> |

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目                             | 当 期                         | 前 期                         |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                                 | 2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで | 2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで |
| 売上高                             | 57,686                      | 54,071                      |
| 売上原価                            | 47,177                      | 45,400                      |
| 売上総利益                           | 10,509                      | 8,671                       |
| 販売費及び一般管理費                      | 9,313                       | 11,242                      |
| 営業利益又は営業損失(△)                   | 1,195                       | △ 2,571                     |
| 営業外収益                           | 551                         | 527                         |
| 営業外費用                           | 495                         | 552                         |
| 経常利益又は経常損失(△)                   | 1,251                       | △ 2,595                     |
| 特別利益                            | 155                         | 6                           |
| 特別損失                            | 294                         | 362                         |
| 税金等調整前当期純利益又は<br>税金等調整前当期純損失(△) | 1,112                       | △ 2,951                     |
| 法人税等合計                          | 229                         | △ 524                       |
| <b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>          | <b>882</b>                  | <b>△ 2,427</b>              |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目                   | 当 期                         | 前 期                         |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                       | 2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで | 2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー      | 2,476                       | 5,758                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー      | △ 2,309                     | △ 2,695                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー      | 1,838                       | △ 2,353                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額      | △ 14                        | 22                          |
| 現金及び現金同等物の増加額         | 1,991                       | 732                         |
| 現金及び現金同等物の期首残高        | 11,067                      | 10,334                      |
| <b>現金及び現金同等物の期末残高</b> | <b>13,058</b>               | <b>11,067</b>               |

# 連結財務諸表

## 連結株主資本等変動計算書 (2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                                | 株主資本   |        |        |         |            | その他の包括利益累計額      |              |                   | 純資産<br>合計 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|---------|------------|------------------|--------------|-------------------|-----------|
|                                | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自己株式    | 株主資本<br>合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | その他の包括<br>利益累計額合計 |           |
| 2010年3月31日残高                   | 11,899 | 11,718 | 30,610 | △ 2,145 | 52,083     | 294              | △ 18         | 275               | 52,359    |
| 当連結会計年度中の変動額                   |        |        |        |         |            |                  |              |                   |           |
| 剰余金の配当                         |        |        | △ 238  |         | △ 238      |                  |              |                   | △ 238     |
| 当期純利益                          |        |        | 882    |         | 882        |                  |              |                   | 882       |
| 自己株式の取得                        |        |        |        | △ 0     | △ 0        |                  |              |                   | △ 0       |
| 自己株式の処分                        |        |        | △ 0    | 0       | 0          |                  |              |                   | 0         |
| 株主資本以外の項目の<br>当連結会計年度中の変動額(純額) |        |        |        |         |            | 72               | △ 182        | △ 109             | △ 109     |
| 当連結会計年度中の変動額合計                 | —      | —      | 643    | △ 0     | 643        | 72               | △ 182        | △ 109             | 533       |
| 2011年3月31日残高                   | 11,899 | 11,718 | 31,254 | △ 2,145 | 52,727     | 366              | △ 201        | 165               | 52,892    |

## 利益還元について

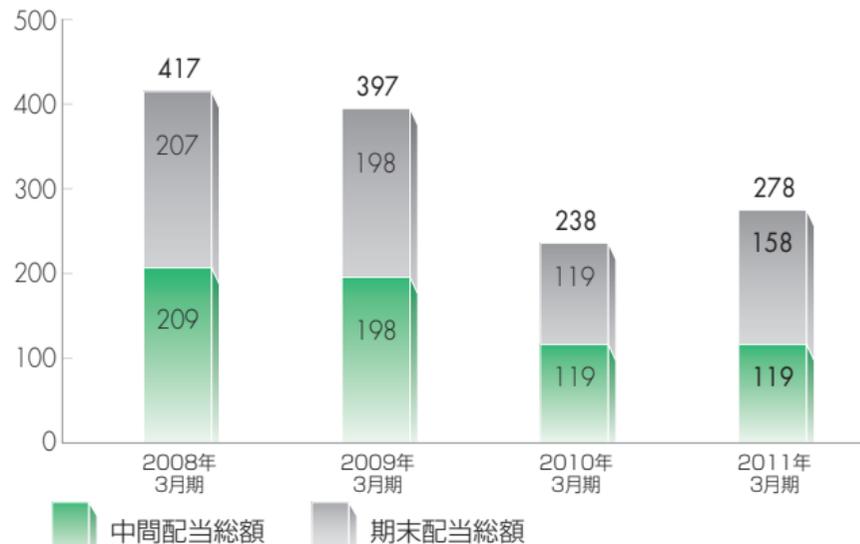
当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めております。

### 配当について

2011年3月期の期末配当金につきましては、前期末配当金より1株あたり1円増配の1株あたり4円とさせていただきます。これにより、中間配当金を含めました年間配当金は、1株あたり7円となります。

### 配当総額の推移

(百万円)



## 会社概要 (2011年3月31日現在)

|           |  |
|-----------|--|
| ■ 商 号     | 極東開発工業株式会社<br>KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD. |
| ■ 設 立     | 1955年6月1日                                      |
| ■ 資 本 金   | 11,899,867,400円                                |
| ■ 従 業 員 数 | 連結 2,169名 単独 823名                              |

## 役 員 (2011年6月28日現在)

|                |         |
|----------------|---------|
| 代表取締役社長最高執行責任者 | 筆 谷 高 明 |
| 代表取締役専務 専務執行役員 | 中 井 一 喜 |
| 取締役 常務執行役員     | 安 岡 嘉 宏 |
| 取締役 常務執行役員     | 高 島 義 典 |
| 取締役 常務執行役員     | 熊 沢 紀 博 |
| 取締役 執行役員       | 高 橋 和 也 |

|           |           |
|-----------|-----------|
| 執 行 役 員   | 西 川 柳 一 郎 |
| 執 行 役 員   | 西 田 正 和   |
| 執 行 役 員   | 林 篤 昌     |
| 執 行 役 員   | 杉 本 治 己   |
| 執 行 役 員   | 中 西 利 寿   |
| 執 行 役 員   | 米 田 卓     |
| 執 行 役 員   | 則 光 健 男   |
| 執 行 役 員   | 堀 本 昇     |
| 常 勤 監 査 役 | 植 山 友 幾   |
| 監 査 役     | 岡 本 太 郎   |
| 社 外 監 査 役 | 道 上 明     |
| 社 外 監 査 役 | 楠 守 雄     |

# 株式データ

(2011年3月31日現在)

## 株式の状況

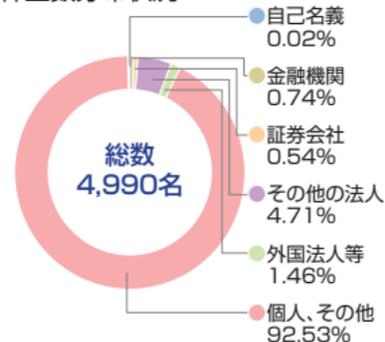
- 発行可能株式総数 170,950,672 株
- 発行済株式総数 42,737,668 株
- 株主数 4,990 名
- 大株主

| 株主名                                    | 持株数(千株) |
|--|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)              | 2,398   |
| 株式会社三井住友銀行                             | 1,600   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託みなと銀行口)       | 1,498   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                | 1,300   |
| 宮原 幾男                                  | 1,141   |
| 極東開発共栄会                                | 1,140   |
| 三菱 UFJ 信託銀行株式会社                        | 1,012   |
| 極東開発従業員持株会                             | 921     |
| シービーエヌワイデイエフエイインターナショナルキャップバリューポートフォリオ | 915     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(トヨタ自動車口)            | 837     |

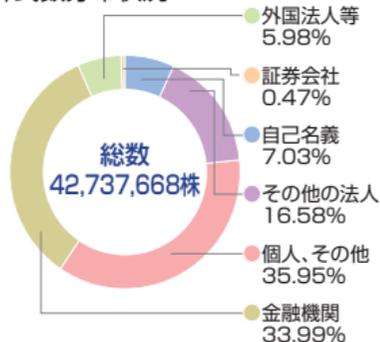
(注) 当社は自己株式を 3,005 千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 株式分布状況

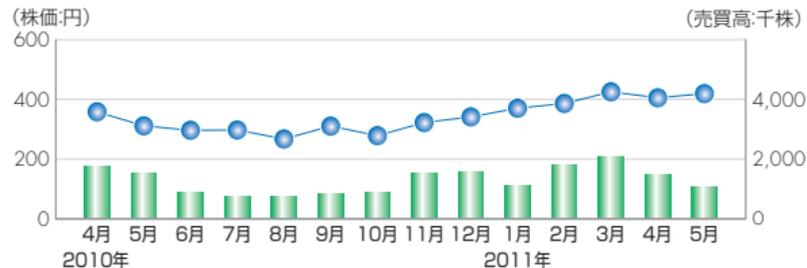
株主数分布状況



株式数分布状況



## 株価・売買高の推移



※株価は月末の終値を示しています。

# 株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末 3月31日

中間 9月30日

公告方法 電子公告

当社ホームページにて掲載

(<http://www.kyokuto.com/>)

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL 0120-094-777(通話料無料)

上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部

大阪証券取引所市場第一部

## <ご注意>

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:[kkkikaku@kyokuto.com](mailto:kkkikaku@kyokuto.com)